

●第4回野外見学採集会報告●

西村 真也

会報第5号でお知らせした第4回野外見学採集会が、平成8年11月3日（日）に会員他28名の参加のもと開催されました。今回は室戸市羽根町登の登層模式地において、新第三紀鮮新世の化石採集が中心となりました。

秋晴れの好天に恵まれ、参加者一同汗をかきながら集合場所である羽根産業の駐車場より採集地点の露頭までの坂道を登りました。そこで会報第4号に本地点を紹介していただいた三浦佐恵子（安芸高教諭）・仁尾晴美（中芸高教諭）両氏に付近の地質や化石のお話をうかがった後、さっそく各自化石の採集にとりかかりました。

ここには灰白色のやわらかい泥質岩中に多くの二枚貝や巻貝、魚の耳石、有孔虫などの化石が含ま



化石採集風景

れており、全員が保存のよい化石を採集しようと熱心にハンマーをふるいました。中でも皆の採集の目的となったのがサメの歯の化石。めったに産出しないものながら、先に同地点で行なわれた高知化石研究会の採集会で5個産出していたということで、それぞれが懸命に探しましたが、残念ながら採集することはできませんでした。

また登層は大陸棚に堆積した地層と考えられており、比較的浅い海に生息する貝類と深海に生息する貝類の化石とが同時に産出し、「これは何という貝」「どこに住んでいたものか」など、化石の鑑定にあたった川沢会長、川添副会長、三本健二氏の元には多くの化石が寄せられました。一方これらの化石類に混じって、きれいに円磨された直径5mm程度のチャート礫が見つかり、その供給地についての議論がなされたりもしました。全体は昼食時にいったん解散となりなりましたが、暖かな日ざしの中で各々がお弁当を広げ、昼食後もさらにハンマーを握る姿がみられました。

次に参加者の皆さんに書いていただいた感想を紹介いたします。

- 新聞の伝言板で知り初めて参加しましたが、意外に多くの人が集まっていて驚きました。これを機会に化石といわず、色々な事にも興味をもっていきたいと思います。成果を皆が持ち寄って、先生方の説明がなかなか良かったと思います。(福原公二さん)
- 化石採集をしたのは小学校以来23年ぶりのことです。私の家は高知市の福井町にあり、よく化石採集の好きな兄と一緒に、鴻ノ森のガケに貝やアンモナイトなどをたびたび採りにいきました。兄は現在もモロッコまで化石採集にいくほどのマニアです。偶然のことですが私の妻の父が、化石の研究者であったのも不思議な縁と思っています。(片木圭さん)
- 思ったよりいっぱいとれたので、もう一度したいと思います。(五宝健人くん)
- さめのはがもくてきできました。なかなかとれませんでした。(五宝翔平くん)

- 初めての体験でした。耳石の形にも色々あり、アッ、これは何だろう……と、楽しい半日でした。(三浦昭子さん)
- 初めて化石を意識しました。色々な楽しみ方と、色々な思い出、色々な人達を感じることができて、とても楽しい日になりました。また参加させていただきたいと思います。(間仁子さん)
- なかなかお目当てのものが見つからず、よく分からないものが多く見つかりました。(宝巻孝朗さん)
- 本で読んで一度は来てみたいと思っておりました。実際に自分の手で確認できたのはとてもうれしく思います。これからも参加できるような会をお願い致します。(嶋田須賀さん)
- 生まれて初めての体験、化石を探す会へ参加し、そして小さな小さな石つぶを岩石の中から見つけた。その小さな石は雲のような模様が描かれている。遠い遠い道のりを経て、今、私の手のひらの上にある。(坪屋幸子さん)